

ようこそ、長瀨宝登山へ

今年も臘梅の季節がやってきました。

標高497mの宝登山頂、約2,000㎡の園地に約500株(約2,000本)のロウバイが咲き誇り、英名「Winter Sweet(ウィンタースウィート)」と呼ばれるほどの濃厚な甘い香りに包まれます。

早春の陽光を浴び、透きとおるような淡い黄色の花を咲かせる臘梅。花の少ない時期に厳しい寒さに耐えながら、凛と咲く姿は本当に美しいものです。

また、関東一のロケーションを誇る眺望も人気のひとつでしょう。

眼下に広がる秩父の町並みや、秩父のシンボル「武甲山【※3】」、鋸状の山容をした「両神山【※4】」などの山々の景色をゆっくりと楽しんだあとは、のんびりと長瀨駅周辺の散歩へ出かけてみましょう。「秩父路遊々フリーきっぷ」「ふらり！秩父・長瀨おでかけきっぷ」を指定施設で提示すると、料金の割引やちょっぴりプレゼントがもらえたり・・・と、今年はいっぱいコトがいっぱいです。

「臘梅(ロウバイ)」って？

臘梅は「梅」の仲間と思われがちですが、ロウバイ科ロウバイ属で中国中部原産、高さ3～4mになる落葉低木、直径約2cm程の黄色く香高い花をつけ、冬に咲く花木の代表種です。

名前の由来は、花がロウ細工のように美しいという説、花弁の色が蜜蝋【※1】に似ているからという説、臘月【※2】に咲く花が梅に似ているからと諸説あります。

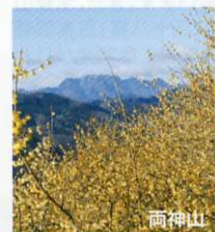
【※1】蜜蝋(みつろう)
ミツバチから分泌され、ミツバチの巣の主成分をなす蝋。巣を加熱圧搾したり、湯で煮溶かしたりして採取し、精製したものはつや出し剤・化粧品などに利用される。

【※2】臘月(ろうげつ)
陰暦12月の異名で、「師走」の他の別称の一つ。古代中国では、「臘祭」と呼ばれる狩猟祭が12月に行われ、その祭りがあつた月を「臘月」と呼ぶようになったといわれています。

山頂から見える秩父の名峰

【※3】武甲山 標高1,304m

石灰岩の採掘のため、山肌があらわになっていますが、秩父のシンボルとしての存在感はたっぷり。日本武尊が登山されて武具・甲冑を岩蔵に納め、東征の成功を祈ったところから山名が「武甲山」になったといわれています。



【※4】両神山

標高1,723m

岩が砦のようにそそり立ち、のこぎり歯のように見える山容が印象的な両神山は、日本百名山のひとつ。

古くから三峰山、武甲山とともに「秩父三山」と称され山岳信仰の山として知られています。

日本百名山・・・小説家で登山家の深田久弥の著書「日本百名山」で紹介されている国内の100の山。品格・歴史・個性のある山という3つの基準と、標高1500m以上という条件で選定されている。

三種類の臘梅を見分けよう



和臘梅

宝登山頂には三種類の臘梅が植栽されています。それぞれの花をじっくりと見比べてみましょう。うつむき加減に咲く臘梅を、花弁を透かすように見ると、ロウ細工のような花の美しさにより一層感じることができると、ぜひお試しを。



素心臘梅



満月臘梅

- 和臘梅 基本原種で花芯部が紅紫色でやや小型。
- 素心臘梅 一番香りが良く、花芯部は黄色、花びらは剣弁(先がとがった形)が特徴。
- 満月臘梅 素心から選抜された品種で、花びらは丸弁、より濃色の大輪。

他にも黄金色の縁起のよい花が楽しめます。



マンサク(1月下旬～3月中旬)



福寿草(2月上旬～3月中旬)

春に他の花に先駆けて咲くので「まず咲く花」がだんだん読んで「マンサク」に。「豊年満作」から命名されたともいわれる。

春を告げる花の代表。新春を祝う花として元日草(がんにつそう)などの別名をもつ。

梅百花園もオススメ

臘梅園に隣接する梅百花園は、昭和61年から梅の植栽がはじまりました。

現在では、早咲きの冬至、寒紅梅をはじめ、月の三銘花(満月・田毎の月・滄溟の月)、名花、珍品など約170品種が集められ、関東一品種の多い梅園です。2月中旬頃から約470本の梅たちが百花繚乱、山肌を紅白に染め上げてゆき、かぐわしい梅の香りが山頂に広がります。

天候や開花状況によっては、臘梅と梅との競演が楽しめるかもしれません。



- 宝登山ロープウェイ山頂駅より徒歩1分
- 2月中旬～3月下旬 入園無料
- 宝登山ロープウェイ山麓駅 0494-66-0258

梅は、中国原産、バラ科サクラ属。品種は、300種類以上。花の観賞を目的とする「花梅」と、実の採取を目的とする「実梅(みうめ)」に分けられます。



おトクなきっぷで、長瀨宝登山「臘梅園」へ出かけよう

フリーエリア内(長瀨～三峰口間)が乗り降り自由

秩父鉄道全線(羽生～三峰口間)が乗り降り自由

ふらり！秩父・長瀨おでかけきっぷ 秩父路遊々フリーきっぷ

- 発売期間 4.5.10.11月の土・日・祝日 1/16～2/28は毎日発売
- 有効期限 発売日当日限り
- 発売箇所 秩父鉄道寄居駅
- 発売価格 おとな1,000円 こども500円
- ※「ふらり！秩父・長瀨おでかけきっぷ」は、寄居駅以外の駅では発売していません。ご注意ください。
- 発売期間 土・日・祝日(通年) 1/16～2/28は毎日発売
- 有効期限 発売日当日限り
- 発売箇所 秩父鉄道各駅
- 発売価格 おとな1,400円 こども700円
- ※「ふらり！秩父・長瀨おでかけきっぷ」「秩父路遊々フリーきっぷ」は普通列車のみご利用いただけます。急行ロウバイ号(急行秩父路号)へご乗車の場合、別途料金が必要です。